

大森山動物園ビジターセンター

～大森山公園と動物園が一体となった新たな拠点が完成!～



2014年7月24日、大森山動物園ビジターセンター(以下、ビジターセンター。)がオープンしました。ビジターセンターは、大森山公園と動物園が一体となった整備を計画的に進める「大森山自然動物公園整備構想」に基づき整備され、動物園の入園ゲートを中央に配置し、無料休憩コーナー、飲食・売店コーナー、授乳室などを備えた公園エリアと、情報コーナー、多目的コーナーなどを備えた動物園エリアに分かれています(平面図参照)。

また、来園者の利便性を向上させるアプローチ道路や雨天時に対応した大屋根広場、動物をより身近に観察できるウエルカム動物舎などが整備され、大森山を訪れる人たちの拠点となる施設となっています。

① 動物園エリア

秋田杉をふんだんに使用した温かみのある内装で、動物園に入園したかたが休憩できる多目的コーナーや、お子さんが遊べるキッズコーナーなどがあります。

また、情報コーナーでは、イヌワシやゼニタナゴの保護に関する動物園の取り組みなどを紹介した情報ボードのほか、篤志家のご厚意で設置された46インチのデジタルサイネージ(電子看板)で動物の赤ちゃんやイベントなどに関する最新の動物園情報もご覧いただけます。

① 動物園エリア



ビジターセンター概要

- 構造:鉄骨平屋建て
- 延べ床面積:約740㎡
- 工事費
- 本体工事 約3億1,000万円
- 外構工事 約4,440万円

ビジターセンター平面図



② アプローチ道路

センター入口前までバスや車の乗り入れが可能になり、来園者の利便性が大きく向上しました。



② アプローチ道路



ビジターセンター開所式

7月24日の8時45分からビジターセンター正面ゲート前で開所式を行い、センターのオープンを市長や来賓、地域のかたたちと一緒に祝いました。式では浜田小学校の皆さんがお祝いの「浜田音頭」を元気いっぱい披露してくれたほか、イヌワシ、アカコンゴウインコ、ミニチュアホースといった園内の動物やイメージキャラクター「オモリン」も登場し、セレモニーを盛り上げました。

また、オープニングイベントとして、動物園エリア多目的コーナーでは、シンポジウム「イヌワシの未来を語る」(6ページで詳しく紹介)が開催されたほか、公園エリアでは高校生が撮影した動物の写真や、来園者の笑顔の写真を展示した写真展などが開催されました。



ビジターセンターの特徴



③ ウエルカム動物舎

③ ウエルカム動物舎

動物たちをより身近に感じてもらえるよう、入園してすぐの場所にウエルカム動物舎が新設されました。入園ゲートを入ってすぐ左のスロープを下りていくと、アフリカタテガミヤマアラシやタンチョウなどを間近で観察できるほか、好奇心旺盛なミーアキャットやプレーリードッグたちが皆さんをお出迎えしてくれますよ。

④ 大屋根広場

ビジターセンターでもひととき印象的な大きな楕円形の屋根で覆われた広場です。雨天や降雪時に対応し、イベントなどの開催にもご利用いただけます。



④ 大屋根広場

⑤ 公園エリア

大森山にいられたかたなら、どなたでもご利用になれる無料休憩コーナーや授乳室などがあります。また、本格的なイタリアンジェラートや大森山バーガーといったオリジナルメニューが楽しめる、スイーツ・軽食コーナーができました。動物園や遊園地のオリジナルグッズ、お土産などを販売するZOOショップもあります。グレードアップした動物園にぜひおいでください。

⑤ ZOOショップ



⑤ 無料休憩コーナー

